

派遣留学の手びき

学内申込準備編

平成 30 年度

小樽商科大学グローバル戦略推進センターグローバル教育部門

目次

1.	小樽商科大学の留学制度について	3
a.	交換留学	3
b.	海外研修プログラム	3
c.	語学研修(夏季派遣／春季派遣)	3
2.	交換留学について	4
a.	小樽商科大学の協定大学	4
b.	派遣要件	5
c.	申込時期	5
d.	申込手順	6
e.	選考	6
f.	奨学金	7
g.	語学力	7
h.	単位認定	8
i.	オリエンテーション(計2回)	8
j.	留学の計画について	8
3.	海外研修プログラムについて	9
a.	該当科目と実施プログラム例	9
4.	語学研修(夏季派遣／春季派遣)について	10
a.	留学先(派遣実績)	10
b.	派遣要件	10
c.	申込時期	10
d.	申込手順	11
e.	面接	11
f.	語学力	11
g.	奨学金	11
h.	単位申請について	12
5.	お問い合わせ先	12

1. 小樽商科大学の留学制度について

小樽商科大学には次の3種類の留学方法があります。どの留学方法をとっても、奨学金受給の申込みや、単位認定の手続きを取ることができます。留学の申込時期や申込要件がそれぞれ異なりますので、注意しましょう。

また、年に2回(4月および10月)に留学説明会を実施していますので、そこに参加をして、情報収集を試みましょう。

a. 交換留学

小樽商科大学と学生交換協定を結んでいる協定大学に、1～2学期間(約半年～約1年間)留学をします。交換留学中は学年進行するので、帰国後は留年することなく次の年次に進級することができます。

b. 海外研修プログラム

専門共通科目の「アジア・オセアニア事情」「アメリカ事情」「ヨーロッパ事情」により、夏季または春季休業期間中に、海外協定大学等で短期の研修(3週間前後)を行います。英語等の語学や地域事情を集中的に学修するプログラムです。研修以外に、商大での事前・事後授業への出席も必要になります。



c. 語学研修(夏季派遣／春季派遣)

夏季または春季休業期間を利用して、3～4週間程度、小樽商科大学が認定する大学や語学学校で語学を学びます。

2. 交換留学について

a. 小樽商科大学の協定大学

	協定大学名		国名	教育言語	派遣学生数
1	オタゴ大学	The University of Otago	ニュージーランド	英語	3名以内
2	忠南大学	Chungnam National University	大韓民国	韓国語	3名以内
3	ウーロンゴン大学	University of Wollongong	オーストラリア	英語	3名以内
4	ウェスタンミシガン大学	Western Michigan University	アメリカ合衆国	英語	1名以内
5	東北財経大学	Dongbei University of Finance and Economics	中華人民共和国	中国語	5名以内
6	バイロイト大学	University of Bayreuth	ドイツ連邦共和国	ドイツ語 英語	3名以内
7	エクス＝マルセイユ大学	Aix-Marseille University	フランス共和国	フランス語 英語	4名以内
8	蘭州大学	Lanzhou University	中華人民共和国	中国語	5名以内
9	ロシア極東連邦総合大学	Far Eastern Federal University	ロシア連邦	ロシア語	2名以内
10	ウィーン経済大学	Vienna University of Economics and Business	オーストリア共和国	ドイツ語 英語	2名以内
11	オグレスープ大学	Oglethorpe University	アメリカ合衆国	英語	2名以内
12	サウスダコタ大学	The University of South Dakota	アメリカ合衆国	英語	2名以内
13	シェフィールド大学	The University of Sheffield	連合王国	英語	2名以内
14	ビフロスト大学	Bifrost University	アイスランド共和国	英語	2名以内
15	ブルゴス大学	The University of Burgos	スペイン	スペイン語	2名以内
16	ベルリン経済・法律大学	Berlin School of Economics and Law	ドイツ連邦共和国	ドイツ語 英語	2名以内
17	ベトナム国家大学ホーチミン市国際大学	Vietnam National University Ho Chi Minh City	ベトナム社会主義共和国	英語	5名以内

		International University			
18	オウル応用科学大学	Oulu University of Applied Science	フィンランド共和国	英語	2名以内
19	マラヤ大学	University of Malaya	マレーシア	英語	3名以内
20	レスリー大学	Lesley University	アメリカ合衆国	英語	3名以内
	20 大学		15 カ国		56 名以内

※学生交換数のバランスが著しく崩れた大学については、本学から派遣する交換留学生を募集しない場合があります。

b. 派遣要件

本学に学位の取得を目的として2年次以上に在籍する*成績優秀な学生で、かつ、協定大学において授業科目等を履修し、本学の単位を取得しようとする学生を対象としています。

*派遣留学時に2年次であれば申込み可

c. 申込時期

期別	申込時期	派遣先大学
第Ⅰ期 (4月～7月出発)	前年度6月中	ベルリン経済・法律大学(ドイツ) バイロイト大学(ドイツ) ビフロスト大学(アイスランド)
第Ⅱ期 (8月～11月出発)	前年度11月～ 1月	忠南大学(韓国) 東北財経大学(中国) 蘭州大学(中国) マラヤ大学(マレーシア) ベトナム国家大学ホーチミン市国際大学(ベトナム) ウェスタンミシガン大学(アメリカ) オグレスープ大学(アメリカ) サウスダコタ大学(アメリカ) レスリー大学(アメリカ) ビフロスト大学(アイスランド) シェフィールド大学(イギリス) ウィーン経済大学(オーストリア) ブルゴス大学(スペイン) バイロイト大学(ドイツ) ベルリン経済・法律大学(ドイツ) エクス＝マルセイユ大学(フランス)

		ロシア極東連邦総合大学(ロシア) オウル応用科学大学(フィンランド)
第Ⅲ期 (12月～3月出発)	5月～6月	オタゴ大学(ニュージーランド) ウーロンゴン大学(オーストラリア) 忠南大学(韓国) ロシア極東連邦総合大学(ロシア) 蘭州大学(中国)

※学生交換数のバランスが著しく崩れた大学については、本学から派遣する交換留学生を募集しない場合があります。

d. 申込手順

実際に協定大学に留学するまでに、次の手順で手続きを踏んでいきます。

準 備	<ol style="list-style-type: none"> 1. 募集要項により、申込できる協定大学、申込締切、申込要件などを確認する(募集時期については上記C.申込時期を参照のこと) 2. 募集説明会に出席し、申込の手順や大まかな流れなどを確認する
小樽商科大学内での手続き	<ol style="list-style-type: none"> 3. 「留学願」(別紙様式1)を受取り、必要事項を記入の上、期日までに国際交流室に提出する 4. 選考試験を受ける 5. 選考試験の結果に基づき、小樽商科大学から協定大学に推薦される (第一希望の大学には推薦されないこともあります)
協定大学に入るための手続き	<ol style="list-style-type: none"> 6. 小樽商科大学からの推薦後、協定大学に願書を提出する 7. 協定大学から入学許可が出る
留学先の国に入るための手続き	<ol style="list-style-type: none"> 8. ビザの申請をする 9. ビザが下りる 10. 航空券を手配する

e. 選考

交換留学をするためには、選考試験を受ける必要があります。選考試験は主に筆記試験と面接試験からなります。選考試験の結果と、普段の学業成績、語学能力



を基に、協定大学への推薦順位を決定します。

f. 奨学金

交換留学での推薦が内定した学生で、各奨学金の申込要件を満たす者は、次の奨学金制度に申込みことができます。申込要件等、詳細については、推薦内定後に案内します。

① 日本学生支援機構 海外留学支援制度(協定派遣)

留学開始月から留学終了月まで、月額6～8万円の奨学金が支給されます。返還の必要はありません。成績評価係数が2.30(以上)の学生のみ申込みをすることができます。

【評価係数の計算方法】

$$\frac{(\text{秀および優の単位数} \times 3 + \text{良の単位数} \times 2 + \text{可の単位数} \times 1 + \text{不可の単位数} \times 0)}{\text{総単位数}}$$

なお、一定の家計要件を満たす必要もあります。

また、この奨学金には大学毎の推薦枠が設定されており、必ずしも要件を満たした者全員が採用されるわけではありません。

② 日本学生支援機構 第二種奨学金(短期留学)

留学前にご自分で選んだ月額(3、5、8、10、12万円のいずれか)が、留学開始月から留学終了月まで支給されます。留学期間が終了したら、返還する義務を負います(卒業まで返還を猶予することも可能です)。

③ 小樽商科大学後援会助成金

商大の同窓会組織である「小樽商科大学後援会」からの寄附により、留学渡航前に、航空券程度の金額(地域によって10～20万円予定)が一時金として支給されます。返還の必要はありません。

※また、国内の第一種、第二種の奨学金を、留学中も継続することも可能です。

g. 語学力

交換留学を申し込むにあたり、学内申込み時点での語学力の制限はありません。ただし、どの派遣先国・地域へ応募する場合でも、TOEFLスコアの提出が必須です。商大では学内でTOEFL ITPテストを年7回程度実施します(申込先:商大生協)ので、留学を希望する場合は積極的に受験してみてください。

なお、英語圏へ留学をする学生については、学内申込み時点で TOEFL ITP500 点以上が推奨されます。ただし、派遣先では、基本的に学部レベルの授業科目を英語で受講することから、渡航までに TOEFL ITP で550点を取得するよう、協定大学から求められています。推薦が決まった後にも、語学力が向上するよう努力を続けてください。

* 協定大学によっては、願書提出時点で530点以上を求められることがあります。

* 協定大学によっては、IELTS 等 TOEFL 以外のスコアが必要になることがあります。

h. 単位認定

協定大学で取得した単位を、60単位を超えない範囲で、商大の単位として認定することができます。

単位認定をするためには、まず、留学先で受講している科目が商大のどの科目に認定することが可能であるかを審査する必要がありますので、派遣先での履修登録が済んだら、その手続きをしなければなりません。

無事に単位を取得できた段階で、「単位認定願」を提出し、商大の単位として認定をします。

詳しい単位認定の仕方については、派遣決定後のオリエンテーションでご説明いたします。

i. オリエンテーション（計2回）

学内選考の結果、協定大学に推薦されることが決まったら、全員参加のオリエンテーションを実施し、派遣留学までの具体的な手続きについての情報提供を行っています。

また、出発直前にもオリエンテーションを実施し、実際に留学をした後の流れ等について説明をします。

計2回のオリエンテーションには、必ず出席しなければなりません。

j. 留学の計画について

交換留学により協定大学へ派遣される学生は、それぞれが大学の代表です。留学中に自己都合で安易に期間を変更するようなことは、協定大学との信頼関係をそこね、以降の交流に悪影響を及ぼす恐れがあります。そのようなことにならないよう、推薦が決まったら、改めて自身の留学の目的や目標を見直し、出発前・帰国後を含めたしっかりとした留学の計画を立て、それを全うするよう努めてください。

留学計画の作成にあたっては、ゼミの指導教員や、短期留学コーディネーターとよく相談することをお勧めします。

3. 海外研修プログラムについて

専門共通科目の通称「事情科目」によるプログラムです。大学での授業＋夏季または春季休業中の海外協定大学等での短期(3週間前後)の研修により構成される科目で、卒業所要単位として1～2単位(キャップ外)を修得可能です。また、海外での研修が語学研修である場合は、語学研修(夏季派遣／春季派遣)と同様、帰国後に所定の語学検定を受けることによって、語学の単位認定も可能です。

なお、一部の事情科目は「佐野力海外留学奨励金事業」として実施され、一定の学力要件を満たすことで、海外研修参加に要する費用の大部分が補助されます。

a. 該当科目と実施プログラム例

- アジア・オセアニア事情：
 - ・オタゴ大学(ニュージーランド)での語学研修(英語)
 - ・マラヤ大学(マレーシア)での語学研修(英語)
 - ・ウーロンゴン大学(オーストラリア)での語学研修(英語)
- アメリカ事情：
 - ・カルガリー大学(カナダ)での語学研修(英語)
 - ・ボストン(アメリカ)において、現地大学や文化施設訪問、現地高校生との交流等を行うスタディーツアー
- ヨーロッパ事情：
 - ・ウィーン経済大学(オーストリア)におけるサマースクール(英語による集中講義)
 - ・トランシルバニア大学ブラショフ校(ルーマニア)における現地事情を学ぶプログラム

募集や詳細の説明会等については、いずれも学内掲示板等で告知いたします。

4. 語学研修（夏季派遣／春季派遣）について

語学研修には、夏季派遣と春季派遣があります。いずれも大学の長期休業期間中に、小樽商科大学が認定する語学研修機関で、定められた期間に語学研修を受けてくるといものです。

本学で科目として提供している7外国語のすべてについて、参加が認められています。

a. 留学先（派遣実績）

- 英語圏（アメリカ、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、イギリス等）
- 中国（東北財經大学 他）
- 韓国（カナタ韓国語学院 他）
- フランス（エクス＝マルセイユ大学付属語学学校 他）
- ドイツ（バイロイト大学 他）
- スペイン（ブルゴス大学 他）
- ロシア（ロシア極東連邦総合大学 他）

※下線のついたものは、小樽商大の協定大学

b. 派遣要件

特にありません。申込みをすれば1年次生から参加できます。

c. 申込時期

夏季派遣：5月、春季派遣：12月



d. 申込手順

準備	<ol style="list-style-type: none">1. 募集要項により、申込できる語学研修機関、申込締切、申込要件などを確認する2. 募集説明会に出席し、申込の手順や大まかな流れなどを確認する
小樽商科大学内での手続き	<ol style="list-style-type: none">3. 「留学願」(別紙様式1)を受取り、必要事項を記入の上、期日までに国際交流室に提出する
語学研修機関に入るための手続き	<ol style="list-style-type: none">4. 語学研修機関に願書を提出する5. 語学研修機関から入学許可が出る
留学先の国に入るための手続き	<ol style="list-style-type: none">6. ビザが必要な国については、申請をする (※該当者のみ:日本人が外国で短期滞在をする場合、多くの国では、ビザの取得が免除されています)7. ビザが下りる8. 航空券を手配する

e. 面接

応募者には面接試験が課されます。本学教員が、語学研修に参加するに当たっての目的意識や心構えを確認します。

f. 語学力

語学を学ぶ留学であるため、基本的にはどのレベルの学生でも語学研修に参加することができます。しかし、当然のことながら生活をするためには、最低限のコミュニケーションを取ることができるようなレベルでなければなりません。よって、ゼロスタートではなく、基礎レベルの語学力がある事が前提となっています。

g. 奨学金

小樽商科大学が指定する語学研修機関での研修に参加する学生は、小樽商科大学の同窓会からの寄附による、小樽商科大学後援会助成金奨学金の申込みをすることができます。面接試験の結果と普段の学業成績に基づき、優秀者に奨学金(一時金)を支給します。

h. 単位申請について

語学研修に参加した学生は、その成果を「国際交流科目」の単位として申請できます。さらに、留学終了後に該当言語の語学検定試験を受験し、その結果を提出することで、語学科目の卒業所要単位としても申請可能です。

詳細については、「履修の手引き」に記載されている「留学による単位認定」を参照してください。

5. お問い合わせ先

小樽商科大学学生支援課国際交流室(学生センター内)

TEL:0134-27-5262/5263

Email:inljimu@office.otaru-uc.ac.jp

国際交流 HP: <http://www.otaru-uc.ac.jp/international/>

Facebook: <https://www.facebook.com/OUC.InternationalOffice/>

個別に留学相談も受け付けておりますので、お気軽にご連絡ください。

